

北海道教育委員会教育長 様

北海道岩見沢東高等学校長 渡辺 淳 一

次のとおり令和7年度の学校評価について報告します。

定時制課程

1 本年度の重点目標

<p>【スクール・スローガン】「雲外蒼天」雲を突き抜けたその先には、青空が広がっている。努力して苦しみを乗り越えれば、素晴らしい世界が待っている。</p> <p>1 生徒一人一人の学力や特性の把握に基づき、学習指導の個別化を図り、その能力の開発に努める。 2 探究的な学習や主体的・対話的で深い学びを通じ、多様な他者と関わりながら学ぶ力を育成する。 3 継続して登校できるよう、基本的な生活習慣の育成に努める。 4 生命の大切さを意識させるとともに、日常の活動を通して自他を尊重する態度の育成に努める。 5 社会的な自立を図るためのキャリア発達を促す系統的な指導計画に基づく進路指導を推進する。 6 状況に応じて自らが適切に判断し、健康や安全を守ることでできる力を育成する。</p>
--

2 自己評価結果の概要と今後の改善方策

評価項目	自己評価の結果	学校関係者評価
学習指導	<p>○「わかる授業」・「個々の生徒に対応した授業」への評価はおおむね良好であるが、さらに、「主体的、対話的で深い学び」となるよう授業実践に工夫が必要である。</p> <p>○ICT機器、情報機器などを有効的に活用し学習環境の整備を進める必要がある。</p>	<p>* 個々の生徒に対応した事業を引き続きお願いします。</p> <p>* 例年通りのご指導かと、心配しておりません。</p>
改善方策	<p>・引き続き生徒による授業評価や、わかる授業に向けた研修などを実施する。</p> <p>・総合的な探究の時間をはじめ、各教科科目の授業において「主体的、対話的で深い学び」を意識した指導となるよう研修を進める。</p> <p>・ICT機器の活用を図り、自律的な学習に取り組めるよう支援する。</p>	
生徒指導	<p>○定期の会議や日々の情報交換により、生徒情報の共有化と理解を深め、基本的な生活習慣や望ましい生活態度の育成、自他を尊重する心の涵養に努めた。</p> <p>○各種行事を通じて、年齢や学年を超えた生徒間の積極的な交流に努めた。</p> <p>○年4回の個人面談週間を通じて、“全ての教職員が全ての生徒に関わっていく”指導体制を維持している。また、SC*の活用を図り、悩み相談だけではなく、心を楽にする方法の指導などを行った。</p> <p>○いじめは絶対認めない姿勢を徹底した。</p>	<p>* 個人一人ひとりの個性を生かし心のよりどころとしての学校生活をできるようにお願いします。</p> <p>* SCの役割で今後もさらに大きくなると思います。</p> <p>※ SC：スクールカウンセラー</p>
改善方策	<p>・非行事故（特別指導）等が皆無で落ち着いた状態の維持を目指す。</p> <p>・「思いやりの心」や「社会のルールを守る態度」の育成に努める。</p>	
進路指導	<p>○分野の異なる外部講師を招いた講話を複数回聞き、進路意識の啓発・向上を図った。</p> <p>○企業見学や合同説明会などに参加させ、進路意識を啓発・啓蒙させた。</p> <p>○専門学校進学者をはじめ、学校斡旋による管内事業所への就職など、生徒それぞれの目標達成への支援ができた。</p>	<p>* 企業見学などできることは大いにお手伝いしたいと思います。どうぞ活用ください。</p> <p>* 外部講師の講話のチャンスは生徒にとって大きな学びになると思います。</p>
改善方策	<p>・入学時からの進路目標設定に向けた体験的な取組などキャリア教育の充実を図る。</p> <p>・次年度も、進路講話、企業見学や合同説明会など生徒の進路意識の高揚を図る取組に積極的に参加させ、進路への関心を広げ、高めていくよう指導する。</p>	
その他改善方策	<p>・定時制への理解、認識を広めるための情報発信に努める。</p> <p>・情報機器を活用した授業等の充実を図るため、研修への参加を積極的に促す。</p> <p>・生徒の学習保障や自律的な学習の支援の効果的な方策を講じる。</p>	<p>* 生きる力を身につけられるような指導を今後ともよろしくお願い致します。</p>